

校長あいさつ

本校は、明治6年10月7日に、桐生新町浄運寺に「桐生学校」の名称で誕生した市内最古の歴史ある学校で、今年の10月7日には創立144周年を迎えます。

明治11年4月24日の新校舎落成式には、一昨年のNHK大河ドラマ『花燃ゆ』に登場した初代群馬県令の揖取素彦氏が臨席して式典が挙行されたという記録と、同県令から贈られたく祝歌（この里の学びの道は織物の綾に錦にくらべてぞみむ）>が残っています。

同県令は本校草創期における教育の振興・発展に多大な貢献をされた人物であり、明治17年7月に本校のために揮毫したく桐生学校の扁額>は、今も本校のメイン廊下である「北小っ子通り」に大切に飾られています。

その後、時代によって学校の名称は変遷してきましたが、昭和22年4月1日からは桐生市立北小学校となり、平成28年度末の卒業生数は2万3千余名にも上っています。

平成29年度の児童数は182名（7学級）で、もっとも児童数が多かった昭和29年度の2,476名（45学級数）から比べるとだいぶ少なくなりましたが、イチョウ、クスノキ、カシワ、サクラなどたくさんの古木が昔も今も変わらず子どもたちを見守る中、全学年単学級の小規模校ではありますが、産・学・官が連携したく未来創生塾>の協力校として、く伝統的建造物群>を有する文化の薫り高い学区内の物的・人的教育資源を最大限に活用しながら、教職員21名で日々教育活動に邁進しています。

「伝統と刷新」及び「不易と流行」の理念を踏まえて、教育課程の改善・充実に努めながら、「凡事徹底」によって学校生活や社会生活の基礎・基本となる部分をしっかりと身に付けさせ、「知・徳・体のバランスがとれた“北小っ子”」、「当たり前なのが当たり前」にできる“北小っ子”を育てて、中学校に進学させていきたいと考えています。

また、平成29年1月に、本校が平成27年度から取り組んできた『心身ともに健康で安全な生活を自ら実践できる児童の育成～学校経営マネジメントプランを基盤にした健康教育～』が、公益財団法人日本学校保健会の健康づくり推進学校表彰において「優秀校」を受賞したことを踏まえ、この取組の基本的な考え方（PDCAサイクルによる学校評価を活用した学校課題の解決）を今年度も踏襲しながら、「豊かな心を育成するための指導」、「心身の健康づくりのための指導」、「アウトメディアの指導」、「歯と口の健康づくりのための指導」、「望ましい学習習慣・生活習慣定着のための指導」などに取り組み、その改善・充実に努めていきたいと考えています。

本日ここに新しい1年間がスタートしましたが、全教職員が一体となって、勉強にも、健康づくりにも、読書活動にも、学校行事にも、子どもたちが生き生きと取り組めるような教育環境の整備に努めていきたいと思っていますので、保護者の皆様と地域の皆様の変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

平成29年4月1日

桐生市立北小学校 校長 小山 慎